

国民年金保険料免除・納付猶予申請 送付書類チェックシート

こちらは国民年金保険料免除・納付猶予申請を郵送で行うためのチェックシートです。

下記の「○提出いただくもの」および【注意事項】をご確認いただき、ご提出ください。なお、チェックシートの提出は不要です。

○提出いただくもの（□にチェック☑をつけてください。【 】は該当者のみ）

☐	国民年金保険料免除・納付猶予申請書 →申請書は年度ごとに1枚必要です。一年度は7月から翌年6月までです。 記入内容については申請書の「申請時の注意点」をご確認ください。
☐	【個人番号（マイナンバー）を申請書に記載し、提出するとき】 →マイナンバーカードの表・裏両面のコピー等（通知カードではありません） ※基礎年金番号で手続きする場合は必要ありません。
☐	【失業などを理由として申請するとき（失業特例）】 →雇用保険被保険者離職票、雇用保険受給資格者証、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書、雇用保険被保険者資格取得届出確認照会回答書 ※申請者本人・配偶者・世帯主のうち、該当するすべての方の書類が必要です。 ※雇用保険の適用のない離職者の方は、お問い合わせください。
☐	【コロナの影響で収入が減少したことを理由として申請するとき（臨時特例）】 （令和4年度分まで申請可能） →簡易な所得見込額の申立書 ※記入内容等については「（記入例）所得の申立書」をご確認ください。
☐	【申請書の本人控に受付印を押印したものの返却を希望するとき】 →切手を貼付した宛名入り返信用封用を同封してください。

【注意事項】

※受付日から過去2年1か月を超える期間および、すでに納付済みの期間は審査の対象になりません。

※届出の内容により、別途書類の提出をお願いすることがあります。

【問い合わせ先】

市川市役所 保健部 国保年金課

電話 047-712-8538（課直通）

国民年金保険料免除・納付猶予申請 記入内容チェックシート

こちらは国民年金保険料免除・納付猶予申請の記入内容について、よくある間違い（特にご注意いただきたい事項）のチェックシートです。不備がある場合は書類の再提出を求める場合があります。提出の前にもう一度確認してください。

免除等申請書		注意事項	チェック欄
	申請書裏面【注意事項】は読みましたか。	○大切なことが書いてあります。必ずお読みください。	☐
	「提出年月日・住所・被保険者氏名」欄は記入されていますか。	○提出年月日、住所および被保険者氏名の記入漏れ、誤りがないか確認してください。	☐
A. 基 本 情 報 欄	「①個人番号（または基礎年金番号）」、「②電話番号」および「③被保険者の氏名」・「④被保険者の生年月日」の各欄は記入されていますか。	○個人番号または基礎年金番号、電話種別・電話番号および被保険者の氏名・生年月日に記入漏れ、誤りがないか確認してください。	☐
	配偶者または世帯主がいる場合、「⑤配偶者の氏名」（別世帯の配偶者を含む）・「⑥配偶者の生年月日」および「⑦世帯主の氏名」の各欄は記入されていますか。	○配偶者（別世帯の配偶者を含む）がいる場合、配偶者の氏名、生年月日を記入しているか確認してください。	☐
		○世帯主（父母等の第三者）がいる場合、世帯主の氏名を記入しているか確認してください。	☐
		○過去の年度分の申請については、申請する対象期間の末日時点の配偶者・世帯主を記入しているか確認してください。	☐
	次の事由に該当する場合、「⑧特記事項」欄にその内容が記入されていますか。 (1) 免除等を希望する年度中に海外転出入があった場合はその国名と転出入日 (2) 免除等を希望する年度の 1 月 1 日時点で海外に居住していた場合はその国名と転入日 (3) 配偶者が別世帯の場合、その配偶者の個人番号 (4) 免除等を申請する年度中に世帯状況の変更（結婚・離婚・世帯主変更等）があった場合、その変更事由、対象者氏名および変更年月日等	○(1)の場合、免除等を申請する年度中の海外転出入日と国名が記入されているか確認してください。	☐
		○(2)の場合、免除等を申請する年度の 1 月 1 日時点で居住していた国名と転入日が記入されているか確認してください。	☐
		○(3)の場合、配偶者の個人番号の記入漏れ、誤りがないか確認してください。	☐
		○(4)の場合、配偶者や世帯主に変更があったことおよび変更年月日が記入されているか確認してください。	☐
B. 申 請 内 容 欄	審査を希望しない免除等区分がある場合、「⑨免除等区分」欄の希望しない区分を「×」で抹消していますか。	○すべての区分を申請する場合は記入の必要はありませんが、審査を希望しない免除等区分がある場合は、その希望しない免除等区分を「×」で抹消しているか確認してください。	☐
	免除等の申請を希望する年度が「⑩申請期間」欄に記入されていますか。	○免除等の申請を希望する年度と記入されている年度が一致しているか確認してください。	☐
	被保険者、配偶者または世帯主の方の、申請年度の前年 12 月末日時点の 16 歳以上 19 歳未満の扶養親族について、「⑪16 歳以上 19 歳未満の扶養親族数」欄の該当する選択肢を「○」で囲んでいますか。	○「被保険者」欄（配偶者や世帯主がいる場合はそれぞれの欄）の該当する選択肢を「○」で囲んでいるか確認してください。	☐
		○「あり」を「○」で囲んだ場合、16 歳以上 19 歳未満の扶養親族の人数の記入漏れ、誤りがないか確認してください。	☐
	被保険者、配偶者または世帯主の失業・倒産・事業の廃止などを理由として免除等を申請される場合、「⑫特例認定区分」の該当する方の欄に記入されていますか。また、その事由が確認できる書類が添付されていますか。	○該当される方の「1. 失業」欄を「○」で囲み、「該当年月日」欄の記入および失業前の「雇用保険加入（あり・なし）」欄を「○」で囲んでいるか確認してください。	☐
		○雇用保険の被保険者であった方は、雇用保険受給資格者証、雇用保険被保険者離職票、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書、雇用保険被保険者資格取得届出確認照会回答書のいずれかのコピーを添付しているか確認してください。	☐
	翌年度以降も引き続き免除等の申請を希望する場合、「⑬継続希望区分」欄が未記入となっていますか。	○継続希望 1 承認された全額免除または納付猶予を翌年度以降も引き続き希望する場合、「希望しません」欄が未記入となっているか確認してください。	☐
		○継続希望 2 1 を未記入とし、その上で納付猶予が承認され、次の年度において全額免除の審査基準に該当する場合、①全額免除、②納付猶予の順で審査を行うことを希望するときは、「希望しません」の欄が未記入となっているか確認してください。	☐
		○継続希望 1 および 2 については、希望しない場合のみ「○」を記入しますので、記入誤りがないか必ず確認してください。	☐
	次の事由に該当する場合、「⑭備考」欄にその内容が記入されていますか。 (1) 免除等の申請を希望する年度中の一部の期間（失業後、離婚後、世帯分離後等）に限り申請する場合 (2) 「⑨免除等区分」において「2. 納付猶予」の審査順序を変更する場合	○(1)の場合、その事由が発生した月の前月分から審査を行います。「⑧特記事項」欄または「⑫特例認定区分」にその事由・該当年月日を記入しているか確認してください。	☐
		○(2)の場合、変更する「2. 納付猶予」の審査順序を記入しているか確認してください。 【記入例】「免除等区分：1→3→2→4→5の順に審査希望」	☐